

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

ミネベアミツミ株式会社山形事業所

山形市にあるミネベアミツミ株式会社山形事業所の星野壱斗さん取材しました！
星野さんは東北学院大学工学部を卒業した後、2021年に入社しました。
現在は製造部製造2課に所属しています。

(1) 仕事内容編



———現在の仕事内容について教えてください。

現在は、ミネベアミツミ山形事業所光デバイス事業部で、製造部製造2課に所属しています。メインの業務は、生産性向上のための「歩留まり（ぶどまり）改善」です。

———「歩留まり改善」という仕事について詳しく教えてください。

簡単に言えば「歩留まり」とは、インプットに対してアウトプットがどれくらい出せるか（良品の割合）、ということです。例えば、部品を100個投入して100個の完成品（良品）ができれば歩留まり100%になりますが、完成品（良品）が90個しか出せず、工程の中で10個不良品になってしまうと、歩留まりが90%になります。

アウトプット÷インプット×100で値が出るのですが、その歩留まりの目標値があります。その目標に対して、不良がどこで出るのかを解析し、原因特定、対策をうち、歩留まり向上、不良品（廃棄）を減らしてしていく仕事です。

——部品や製品について深く理解していなければできない仕事だと思いました。研修制度はありましたか？

最初に新入社員教育として、一つの課題が与えられます。先輩社員についてもらって、一緒に業務を進めていきながら課題に取り組み、最終的に11月くらいに発表という流れです。その中で、製品について自ずと学んでいくことになります。

——仕事のやりがいがありますか？

あります。歩留まり改善は、直接的に数字で結果が出てきます。今はまだ大きな改善はできていないのですが、ちゃんと全体の目標値にもっていったら「すごい！やったぞ」となると思います。今は目標値も非常に高く、さらに良くしていくのが大変なんですけど…。



(2) 職場編

——ミネベアミツミに就職した理由を教えてください。



大学は工学部だったので、製造に関わるところで働きたいという思いがありました。山形の企業をいろいろ見ていく中で、スマホカメラのアクチュエータ（フォーカス・手振れ補正のためにレンズを動かす部品）を扱っている当社を知りました。自分はスマホを買うときにカメラ機能で選ぶくらい興味があったので、面白そうだと思いました。

——いろいろな会社を見たとのことですが、どういった観点で見っていましたか？

やはり業務内容ですね。製品の開発や改善に直接関わりたいと思っていました。製造業といっても、現場で働く人もいれば、開発や、今やっている歩留まり改善などいろいろな職種があると思いますが、どちらかというとな製品の開発や改善業務ができたらいいなと思っていました。

——ミネベアミツミに入ってよかったと思うことはありますか？

海外出張があるところですよ。海外出張を通して成長できることは多いと思いますね。英語が流ちょうに話せるわけではないので、話していることが100%伝わるわけではないですが…。その上でのやり取りで、どうやったらうまく伝わるか、依頼した内容で確実に作業してもらうためにどうしたらいいかを考える中で、コミュニケーション能力が成長したと思います。

——英語の研修はあるのですか？

(星野さん) 僕は使っていませんが、ありますよね？

(採用担当の原田さん)e-learning や、2年に1回、TOEIC が無料で受けられます。e-learning にはいろいろな種類があって、海外の人とリモートで会話するコースや、TOEIC の試験対策コースなどが用意されています。会社の補助がありますので、割安で受講できます。

(星野さん) そういえば、入社前にも研修がありましたね。大学在学中に。そちらはちゃんと受けました (笑)。

——海外出張はどのくらいの頻度で行きますか？

私が所属する製造部は、現場を見なければいけない部署なので、結構行きます。フィリピン・セブ島にある製造現場の状況を見て、歩留まりが良くなければ、「現場に行って見てきて、改善してきてくれ」となります。

期間は、約 2～3 週間の時や新機種の上げの際は 1～2 か月ほど出張に行く機会もあります。



——出張期間中は、こういった仕事をするのですか？

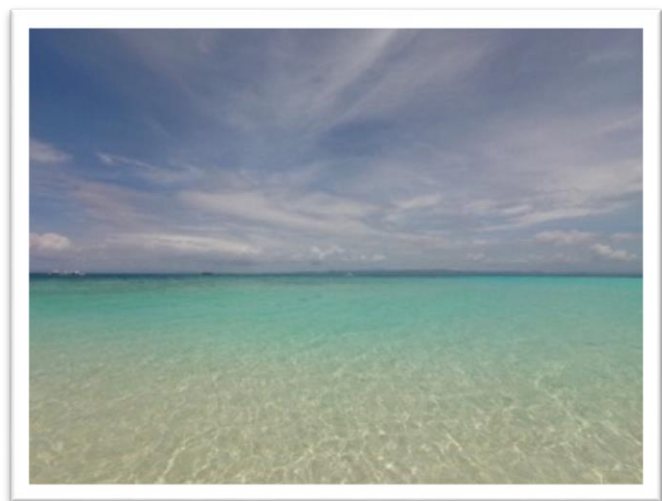
歩留まり改善が目的なので、不良率自体が小さくても、継続的に不良が出ている状況があれば、傾向をつかむために現場で確認する必要があります。従業員の動きや、設備的な問題が何か起きていないかなど、メールのやり取りでは確認できないことを、現地で指示を出して進捗を確認します。

——海外出張は大変ではありませんか？

つらいこともあります。正直なところ、楽しいのと半々ぐらいですかね。たまに日本に電話をかけて、これができないですと愚痴ったりします（笑）。

——海外出張で楽しみなことは何かありますか？

先日の出張では、たまたまホーリーウィークというフィリピンの長期休暇が重なりました。そこで現地のマネージャーに、プチ旅行みたいな感じで別の島に連れていってもらいました。海、綺麗だったっすねえ～。



(3) ある日の過ごし方編

●8:30 【出社】

出社後、定刻に全体でラジオ体操を行います。

●8:35 【担当機種朝会】

担当機種朝会に出席します。情報共有、担当者への進捗確認、業務振り分け等があります。



●9:30 【午前の業務】

連絡事項や、セブ工場に依頼しているデータを確認します。

メールの確認、データ確認・整理、各種業務対応等を進めます。



●12:00 【お昼休憩】

社員食堂で昼食を食べます。

福利厚生の一環で安く利用できるのので助かっています。

●12:40 【午後の業務】

午前引き続きデータの確認を行います。

製品の解析や検証を自分自身で行ったりもします。

検証データのレビューや今後の対応に関する打合せもあります。



●16：00【セブ工場担当者との Web ミーティング】

セブ工場の担当者との Web ミーティングを行います。
セブ工場での改善状況の報告や新しい依頼事項のイン
プットなど、生産現場との情報共有を行います。



●17：15【退勤】

(4) むらやまでの暮らし編



——大学は宮城県でした。山形市に戻ってきた理由はありますか。

やっぱり地元だからですね。地元が好きですし、高校の友人も山形に戻ってきた人が多かったので、山形で就職しようと思いました。

それに、環境も好きですね。のんびりしていて、自然は豊かで、そんなにせかせかしくなくてもいいところが好きです。ご飯もおいしいです。

——山形のご飯といえば、何がお好きですか。

芋煮です！海外出張が終わって家に帰ってきたら、芋煮を作ってもらっています。

——**ミネベアミツミの採用は、山形事業所としての採用なのでしょうか。**

(星野さん) 私は山形採用です。ただし山形から転勤ということもありえなくはないです。

(採用担当の原田さん) 全体としては東京本部が中心となって採用活動をしていますが、各地に拠点があるので、拠点ごとの採用もしています。山形事業所にも独自の枠があって、エンジニア中心に採用しています。

——**文系の採用はしていないのでしょうか？**

(採用担当の原田さん) 文系の方も活躍している部署はあります。生産管理や資材調達といった部署ですね。ただ基本的には、その辺りは中途採用が中心になっています。

——**福利厚生について教えていただきたいのですが、実際に利用しているものは何かありますか？**

(星野さん) 社員食堂でいつも昼食をとりますが、300 円ぐらいで食べられます。あとは、リフレッシュ休暇を使いますね。例えば、土日の前後に 2、3 日ぐらい休みを付けて、連続で休みを取ったりします。

(採用担当の原田さん) リフレッシュ休暇は連続 5 日間の取得を推奨しています。土日とつなげると 9 日間休暇を取得できますので、毎年海外旅行に行っている方もいます。

——リフレッシュ休暇は、どんなことをされますか？

(星野さん) 去年は何したっけなあ (笑)。去年はただ普通にゆっくりしていた気がしますね。

(採用担当の原田さん) 有給休暇は入社して最初の 1 年目や 2 年目は付与日数が少なく、リフレッシュ休暇を 5 日間丸々は取りにくいこともありますが、連続で休めるようにしています。また、有給休暇の付与日数の半分以上の取得を推奨していますので、有給休暇を取りやすくする取組の一環として、リフレッシュ休暇という制度ができました。

会社としても有給休暇の消化を進めなければなりませんし、社員にも休暇を使っていろいろな経験をしてリフレッシュしていただきたいですね。本当にゆっくりするのもいいですよ (笑)。

(5) まとめ編

——今後の目標はありますか？



先輩社員を見ていると、セブ工場からよく質問がきていますが、先輩は的確にアドバイスを出しています。すごいなと思いますね。問題点に対しても、「こう進めていこう」などとすぐ応えられているので、自分もそうなりたいと思います。

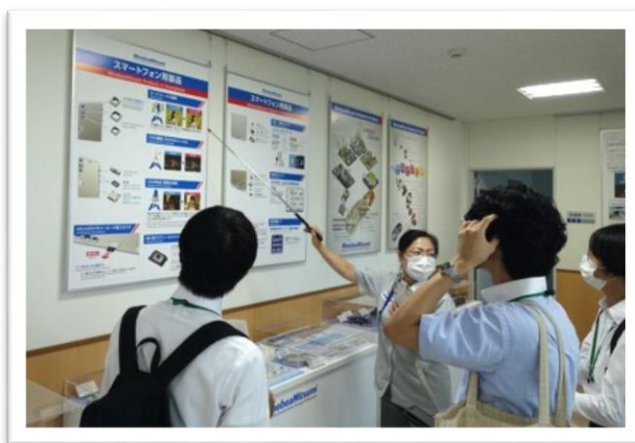
——今後、就職活動を行う方へのメッセージをお願いします。

就職活動は様々な業種や会社を見ることができる、またとない機会だと思います。たくさん見たほうが得だと思いますね。いろいろな業務や職種を見ておくと、就活のときはもちろん、後になっても役立つと思います。

——ありがとうございました！私たち全員が就活を控えていますので、参考にさせていただきます。

今回はミネベアミツミさんを訪問して、お話を伺いました。正直なところ、ミネベアミツミという企業を初めて知ったのですが、文系の私にもわかるくらい身近で、かつ繊細な技術を扱っている、すごい企業だということが伝わりました(ロビーの展示が特にすごかった！)。それに、とてもきれいなオフィスでした。

また、インタビューの雰囲気もとても和やかで、社内の雰囲気が伝わってくるようでした。ここは文字だけなので、その雰囲気を伝えられないのがとても残念ですが…。記事の中で少しでも「ミネベアミツミっていい企業なんだぞ！」と伝えればいいなと思います。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 今井秀和 成澤亜衣 斉藤凜】

ミネベアミツミ株式会社山形事業所

★あなたの情熱と技術が輝く場所。ミネベアミツミ山形で、世界を変える挑戦を始めよう！
ミネベアミツミ(株)山形事業所では、最先端のスマートフォンやゲーム機器などに搭載される小型カメラ部品の設計・開発・製造を行っています。

- 世界シェア No.1 の製品や世界最小・最薄の製品を多数保有
- 山形にありながら、高い技術力を武器に世界をリード
- 食堂や寮などの待遇・福利厚生も充実

★子育てサポート企業として、「くるみん認定」を取得

★女性活躍推進企業として、「えるぼし認定（3段階目）」を取得

★やまがた子育て・介護応援いきいき企業「優秀(ダイヤモンド)企業認定」を取得

・所在地 山形県山形市立谷川 1 丁目 1059 番地の 5

(本社：東京都港区東新橋 1-9-3)

・設立 昭和 26 年 7 月

・従業員数 359 名（男性 296 名、女性 63 名）

・事業内容 最先端のスマートフォンやゲーム機器などに搭載されるカメラ基幹部品の設計・開発・製造

・URL <https://www.minebeamitsumi.com/corp/recruit/>

